

学長の業績評価について

令和4年10月28日
京都府立大学学長選考会議

京都府立大学学長業績評価規程に基づき、塚本 康浩 学長の令和3年度の業績評価を行いましたので、同規程第6条の規定により、下記のとおりその結果を公表します。

記

1 評価方法

学長業績評価規程第3条の規定により、①所信表明書等の達成状況、②年度計画の実施状況を確認するとともに、③学長から選考時の所信についての自己評価をヒアリングにより聴取し確認した。

2 評価結果

所信表明書等の達成状況及び年度計画の実施状況を確認したところ、京都府立大学の学長として、その職責を誠実に果たし、大学運営・改革に努力するとともに、学内外の声に耳を傾け着実に成果を挙げているものと高く評価できる。

(特記事項)

- 学長自らが先頭に立って、教員を対象に全学的な意見交換会を開催するなどして、令和4年1月に「新生・京都府立大学」改革プランを策定。また文部科学省等に対して情報収集するとともに学部学科再編（5学部12学科）の実現に向けた事前相談の準備などの取組を進めた。
- 令和4年3月に「京都府立大学整備構想」を策定し、学部学科再編に対応した教育研究環境の整備に向けた京都府との調整も積極的に進めた。
- 「京都府域全体のキャンパス化」の実現に向け、本学初のサテライトオフィスを舞鶴市内に開設し、府北部地域における地域貢献を推進するとともに、舞鶴地区3高等学校と連携協定を締結し高大連携を進めた。

(参考)

- 評価のスケジュール
 - 10月17日（月） 評価手順の協議・決定
年度計画の評価状況の確認
 - 10月28日（金） 学長ヒアリングの実施
評価内容の協議、評価結果のとりまとめ
- 学長選考会議委員
 - 八田 英二（学校法人同志社 総長・理事長）
 - 渡部 隆夫（株式会社寿光 代表取締役）
 - 藤井 和男（京都府公立大学法人 理事・事務総長）
 - 菱田 哲郎（京都府立大学 文学部長）
 - 服部 敬子（ 同 公共政策学部長）
 - 古田 裕三（ 同 生命環境科学研究科長）